



令和4年12月18日  
統合幕僚監部

(お知らせ)

### 中国海軍艦艇の動向について

海上自衛隊は、12月17日(土)午前11時頃、中国海軍クズネツォフ級空母「遼寧」1隻(艦番号「16」)、ジャンカイⅡ級フリゲート1隻(艦番号「542」)、ルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦1隻(艦番号「120」)、レンハイ級ミサイル駆逐艦1隻(艦番号「104」)及びフユ級高速戦闘支援艦1隻(艦番号「901」)の計5隻が、沖大東島(沖縄県)の南西約260kmの海域において航行していることを確認した。

また、同日午前11時頃から午後5時頃にかけて、中国海軍クズネツォフ級空母「遼寧」(艦番号「16」)の艦載戦闘機及び艦載ヘリの発着艦を確認した。

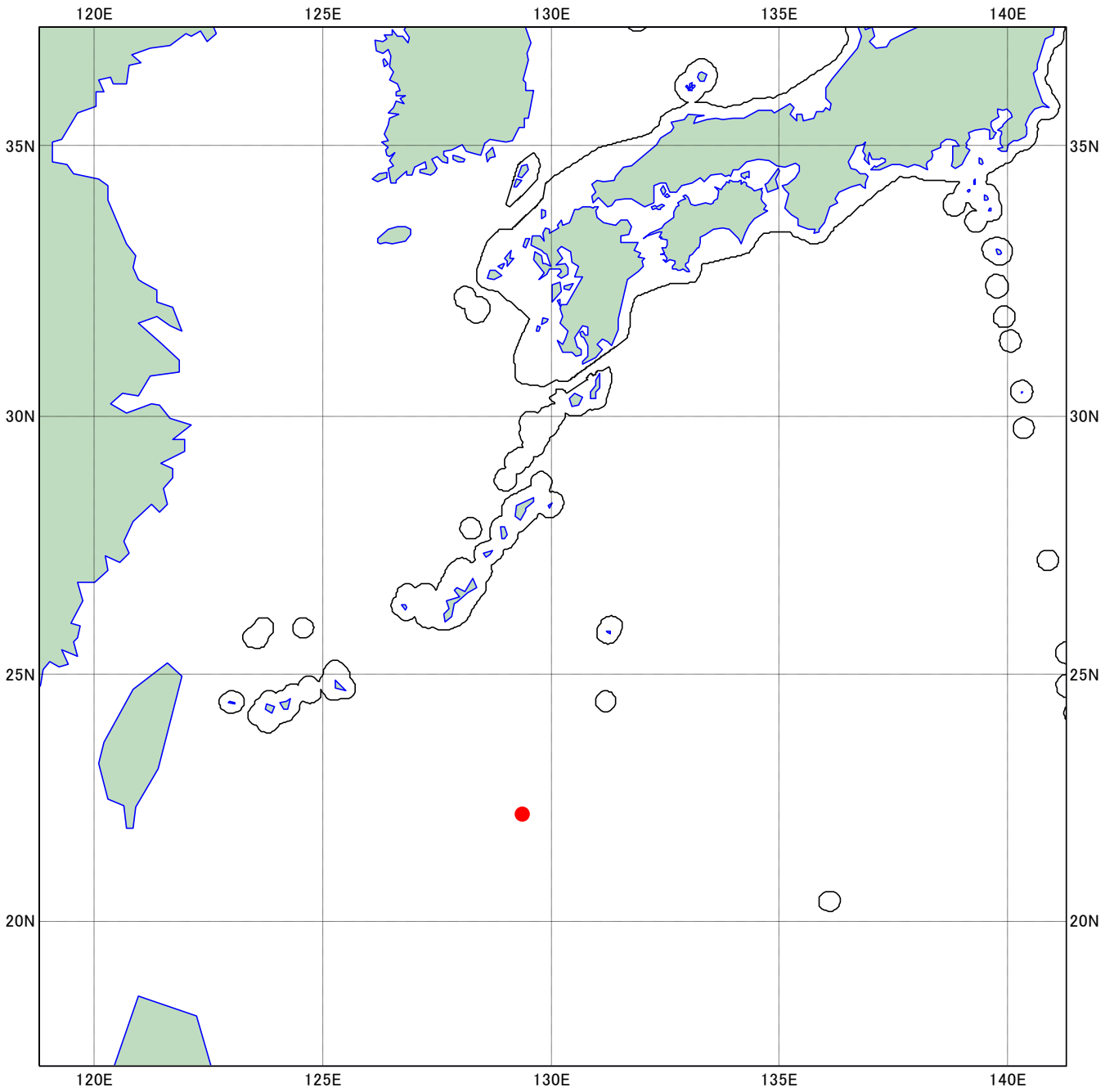
なお、これらの艦艇は、12月15日(木)に東シナ海で確認され、同月16日(金)に沖縄本島と宮古島との間の海域を南下したものと同一である。

防衛省・自衛隊は、海上自衛隊第8護衛隊所属「きりさめ」(佐世保)により、所要の情報収集・警戒監視を行うとともに、艦載戦闘機の発着艦に対し、戦闘機を緊急発進させる等を行った。

クズネツォフ級空母「遼寧」(艦番号「16」)



# 行動概要



● : 中国海軍艦艇等